

4年生向き
20冊

※価格はすべて税別価格です。

しゃべる詩 あそび詩
きこえる詩

- はせみつこ/編
- 富山房 2200円

読んで、聞いて、口ずさんで、目と耳と口で楽しめることばあそびの詩の本です。飯野和好の個性的な絵も楽しめます。

ことわざショウ

- 中川ひろたか/文
- ハッピーオウル社 1400円

日本のことわざを、村上康成のイラストつきで解説したことわざ絵本。ことわざの意味と面白さがパッチリ分かります。

イギリスとアイルランドの昔話

- 石井桃子/編・訳
- 福音館書店(福音館文庫) 750円

「三びきの子ブタ」「トム・テット・トット」をはじめ、イギリスとアイルランドに古くから伝わるお話が30編収められています。子どもへの読み聞かせに最適の一冊。

銀のうでわ

- 君島久子/文
- 岩波書店 1600円

中国・四川省に伝承されてきた民話をもとになった中国版のシンデレラ物語。ガラスの靴のかわりに、銀の腕輪で娘探しが行われます。30年以上読み継がれてきたロングセラー。絵は小野かおるです。

シャーロットのおくりもの

- E.B.ホワイト/作
- さくまゆみこ/訳
- あすなろ書房 1500円

子ブタのウィルバーとクモのシャーロットの、かけがえのない友情を描いたアメリカを代表するファンタジーの作品です。絵はガース・ウィリアムズです。

デルトラ・クエスト1 沈黙の森

- エミリー・ロッタ/作
- 岡田好恵/訳
- 岩崎書店 800円

デルトラの国を救うために、7つの宝石を探す旅に出る少年リーフ。スリルがたっぷり味わえる胸おどる冒険ファンタジーです。

あらしのよるに

- 木村裕一/作
- 講談社 1000円

嵐のまっくらな夜に、お互いの姿が見えないまま大親友になったオオカミとヤギ。2匹がどうなるのか、ドキドキハラハラするお話です。絵はあべ弘士です。

クマのプーさん

- A.A.ミルン/作
- 石井桃子/訳
- 岩波書店(岩波少年文庫) 680円

イギリスの詩人が幼い息子、クリストファー・ロビンのために書いたファンタジーです。クマのプーさんやコブタなど、おもちゃの動物たちが愉快な事件を起こします。

ふしぎなかぎばあさん

- 手島悠介/作
- 岩崎書店 1068円

かぎをなくして家に入れずに困っていた広一は、かぎをたくさん持っている不思議な「かぎばあさん」に助けてもらいます。岡本颯子のあたたかい絵です。

じゅげむ

- 川端誠/作
- クレヨンハウス 1200円

落語絵本です。生まれた男の子にめでたい名前をつけようとした夫婦。ところが、その名前がとんでもなく長かったものですから……。「じゅげむ」から始まる長い名前の繰り返しが愉快です。

車のいろは空のいろ 白いぼうし

- あまききみこ/作
- ポプラ社 1000円

松井さんは、空色のタクシーの運転手。その松井さんが不思議なお客さんに出会う8編のファンタジー。教科書掲載の「白いぼうし」も収録されています。絵は北田卓史です。

おおきな木

- シェル・シルヴァスタイン/作・絵
- 本田錦一郎/訳
- 篠崎書林 1107円

原題は「The Giving Tree」。一緒に遊んだ少年にすべてを与えるリンゴの木の姿を通して、「愛」について考えさせられます。

おじいちゃんがおぼけになったわけ

- キム・フォックス・オーカソン/文
- 菱木晃子/訳
- あすなろ書房 1300円

心臓発作で死んだおじいちゃんが、おぼけになってもどってきたのは、大切な忘れ物があったからでした。おじいちゃんと少年エリックのやりとりに心があたたかくなります。絵はエヴァ・エリックソンです。

サンゴ礁の世界

- 白井祥平/著
- あかね書房 1500円

30年以上読み継がれてきたロングセラー。美しいサンゴの写真が豊富に使われ、サンゴの生態や海を豊かにしているサンゴの貴重な働きがよく分かります。

熱帯雨林とわたしたち

- サリー・モーガン/著
- 宮崎真紀/訳
- 文溪堂 2800円

生命と熱帯雨林の関係、熱帯雨林の役割、緑の土地がどうして砂漠になってしまうのかなど、森が消えていく理由と、森を守るためにできることが分かりやすく解説されている本です。

あきらめないこと、それが冒険だ

- 野口健/著
- 学研 1200円

山登りに生きる意味を見出した少年は、山のゴミの多さに気づきます。日本が誇る富士山も、その実態はゴミの山でした……。登山を通してゴミ問題に取り組む登山家、野口健の爽やかな自伝です。

風の草原 トガリ山のぼうけん①

- いむむらからずお/文・絵
- 理論社 1300円

トガリネズミのトガリが、トガリ山のてっぺん目指して旅立ちます。様々な生き物とトガリの出会いを描く長編冒険絵本です。いむむらからずおが描き出す自然や動物たちの絵が素晴らしいです。

ひろしまのピカ

- 丸木俊/文・絵
- 小峰書店 1500円

世界14か国語圏で翻訳出版されている本。一発の原爆が多くの命を一瞬のうちに奪い、その後も後遺症で亡くなる人があとを絶ちません。7歳のみいちゃんの目を通して、原爆の悲惨さが描かれます。

帰り道の1年

- たかはしきよし/絵・文
- 岩瀬徹・監修
- 偕成社 2000円

セイヨウタンポポ、ヨモギなど、学校の帰り道の道ばたに生えている草たちの1年を定点観測した本です。自然の面白さや不思議を知ることができます。

クマよ

- 星野道夫/文・写真
- 福音館書店 1300円

アラスカの自然と野生動物をテーマに撮影活動を続けた写真家、星野道夫の写真絵本。アラスカで力強く生きるクマの姿と季節の移り変わりに、厳しい自然の中で力強く生きる生命が感じられます。